

平成29年度第3回阪南市市民協働推進委員会 会議録

名称	平成29年度第3回阪南市市民協働推進委員会
開催日時	平成29年9月8日（金） 午後6時00分～午後7時50分
開催場所	阪南市役所 別棟1階第2会議室
出席者	【推進委員】吉田委員、有田委員、今井委員、中本委員、横田委員、砂本委員、川崎委員 7人出席 【事務局】地域まちづくり支援課 宍道課長、辻野主幹、松尾主幹、岩下総括主事、古谷主事
傍聴人数	1人
議題	今後の市民協働事業提案制度について
資料	資料1 今後の市民協働事業提案制度について 資料2 今後の市民協働事業提案制度（案）スケジュールイメージ 資料3 アイデアシート（案） 参考資料 リサイクルブック“つながり”チラシ
要旨	今後の市民協働事業提案制度について、資料1、資料2、資料3に基づき、事務局より説明。
会議	<p>【今後の市民協働事業提案制度について】</p> <p>事務局 今後の市民協働事業提案制度について、資料1、資料2、資料3に基づき、事務局より説明。</p> <p>（推進委員からの意見、質疑・応答）</p> <p>委員 アイデアシートの市民への周知はどのようにされますか。</p> <p>事務局 市民活動センターや市で講座などを実施しています。たとえば、「協働のポイントを知ろう！」という講座を開催するのですが、そのような場に来てくださる方などには、比較的書いていただきやすいと考えています。周知の仕方なども委員の皆さんからご意見いただきたいと思います。</p> <p>委員 アイデアシートという考えは大変良いと思います。アイデアシートの最初の欄の、「アイデアを教えてください。」の欄が少し狭いように思います。このシートはだいぶ考えていただいたのだと思います。提案制度の申請書は、ハードルが高くて応募できないということを知りましたので、これなら書いてもらいやすいと思います。</p> <p>委員 このアイデアシート（案）について、教えて欲しいのですが、「あなたの役割は？」と書いていますが、アイデアを出して、主になって動くことを期待して書いているのですよね。責任が自分になると思う人が出るのではないかと思います。あなたのことを教えてください。のところに、個人で、今までに市民公益活動をしたことがありますかと書いてあるのはなぜあえて入れているのか教えてください。</p> <p>事務局 「あなたの役割は？」というのは、委員の言うとおり、できればその方に、主で活動していただきたいという思いが入っています。もちろんアイデアの全てが全てそういう訳ではないかもしれませんが、できればという思いです。市民活動センターでこのシートを見て、コーディネートやマッチングをしていきますが、既存団体とマッチするものがあれば、既存団体とつなげるのも1つかもしれません。個人で、今までに市民公益活動をしたことがありますかと書いているのは、個人の方になると、お名前と連絡先以外の情報はこのシートからは分からないので、何かしたことがあるところから、会話の糸口にもなる可能性もあるので記載させていただいています。補足になりますが、このシートはこれで決まりという訳ではなくて、皆さんのご意見いただければと思っています。「あなたの役割は？」や「なぜ必要と思いますか？」というところは、あくまでも、このシートは、市民協働事業提案制度につなげるためという目的がありますので、どうしても役割等がないと、要望にもなりかねません。要望を受け付けるシートではありません。市に対してのご要望であれば、「市民の声」という別のものがありますので、それとは分けたいという事務局の意図もあります。あくまでも、アイデアシートは活動したい人や、本市の未来でこのようなことがあれば、もっと住みよくなるのではないかとこのようなアイデアをつなげていきたいという制度ですので、このような形にしています。</p> <p>市民協働事業提案制度は、地域課題や、公共サービスについて、市が単独でするよりも、団体や地域と一緒に連携する方が、効果が上がったり、暮らしやすくなることをめざしています。そのような方を探すためのシートとだけいただければと思います。役割は？などでさきほどご意見をいただいたように、まだまだ堅くて書きづらいというようなご意見もあるかもしれません。</p>

委員	さきほど市民活動センターで周知するという話があったかと思いますが、アイデアシートと何か一緒にお渡しするというのでしょうか。アイデアシートだけでは、何を書けばよいのか分かりません。
事務局	これはどのような意図かということを書いたシートが必要になってきますので、そちらの方は、作成させていただくことになると思います。
委員	今の時代ですので、SNSで周知すると良いと思います。シートを眼にする人は、シートを提出することができるのですが、そうでない沢山の方に見ていただくには、ウェブサイトやSNSを利用されるのが良いと思います。
事務局	募集の時には、説明のあるものを1枚添付しないと分からないと思うので、作る予定です。市民活動センターでも常時置いておき、募集するのですが、ウェブサイトやSNSを使う時になにか説明をつけて周知しようと思っています。
委員	今の時代はSNSで、より多くの方に見ていただくという流れにはなっていると思いますが、反対にインターネットが使えないような高齢者などもいるでしょうし、学校で書いてもらうというのも良いかもしれません。自治会の回覧板で回していただくということは可能なのでしょうか。
事務局	自治会への回覧協力依頼というものは、可能だと思います。
委員	子どもの意見を聞くのも良いと思います。突拍子もないような意見もあると思います。もちろんさきほど話のあった「あなたの役割は？」というところで引っかかってきくかもしれませんが、このようなことがあったら良いのではというすごく良い案が出るかもしれません。どしどし案をいただけるに越したことはないと思います。
委員長	素朴なところでもご意見いただければと思います。シートの体裁もそうですけど、流れのところでも構いません。
委員	意見ではないのですが、アダプトロードというものが、大阪府の岸和田土木が認定しているものがあると思います。これは、非常に定着しているものだと思います。これはボランティアでしておられる。道具が大阪府が用意してしている。道路は、ペットの糞やゴミで汚いが、これはマナーの問題でもある。犬の飼い方などどうにかならないのかなと思うことも多いです。きれいなまちにするためにはどうすれば良いのか。アイデアというものはそのような観点から学生の素直な意見を聞いてあげて欲しいです。まちをきれいにするのはどのようにすれば良いですか、というようなものから繋がっていかないかなと思ったりする。
委員	1つのテーマを決めても面白いかもしれません。
委員	尾道の方は、サイクリングロードがあるそうで、阪南市にもあればもっと道がきれいになるかもしれません。
委員	今のお話でアイデアシートで、ハードルが下がって書きやすくなったけど、何を書いたら良いのかという人もいないかもしれないので、このようなテーマと例示してあげれば書きやすいのかもしれません。
委員	このシートなら、子どもでも書きやすいと思います。
委員長	子どもの意見を吸い上げたらどうですかという皆様のご意見でしたね。インターネットの利用できない人への対応や、広く周知する。なにかテーマを出すなど例示すれば意見が出やすいのかなというご意見です。

委員	<p>今までなら、期間以外は提案制度に応募できなくて、来年まで待たないといけなかったけど、これからは、アイデアシートを随時募集するという流れですよね。</p>
委員長	<p>そうですね。従来の提案制度の流れは変わらないけど、アイデアシートを市民活動センターで随時募集してもらうという流れです。</p> <p>加えて、今年度の提案制度の時のように採択に至らなかった団体を、市民活動センターでフォローアップし、次回につなげるため、グレードアップしたものになるようコンサルをしていただく。</p> <p>皆さんのご意見をいただいている限り、シートというのは、とっつきやすく良いのではないかというご支持いただいております。</p> <p>「あなたの役割は？」というところで話は出ていたと思いますが、小学校に持っていったところで、小学生が主になって活動できるのかということもあります。何でも良いアイデアシートではあるけれど、具体的に団体とつながって一緒に事業を推進していこうと思っている人が想定されます。あまり自由になると要望書になってしまいます。どのようなことが出てきても受付して、審査の時に振り分けて、使えそうなものをピックアップするというのか、そこそこ書いたからには、どこかの団体を紹介したり、一緒にしてもらったりするのか。</p>
委員	<p>市民の声と分けたいという話があったかと思うのですが、市民の声というのは、ウェブサイトで見ていると、要望や苦情などが多いように思います。そうではなく、このシートは、次はこのようにしたら良いのではというものを書くはずなので、すでに分かれているような気はします。</p>
委員長	<p>単なる要望と違ってこのアイデアシートを出すというのは他人ごとで、役所に要望するというものとは違うものになるということですね。アイデアの内容が自治会で解決できるものや校区福祉委員会で解決できるものがあれば、あとはよろしくという感じで振り分けたら良いのでしょうか。そうすると、一緒に活動するのではないので、その意見を届けるのは誰がするのかという問題と、コーディネートというかマッチングというか話をつけに行くのは誰がするのかという問題がありますね。</p>
事務局	<p>事務局としては、協働事業をつなげるという目的で、このシートを設けようと思っていますので、そうすると、自治会も59ありますので協働相手というのはどこになるのでしょうか。</p> <p>よく分かるのですが、自治会は、59ありますし、どこに声をかけるのかという問題もあります。</p> <p>1点追加で、たとえばなのですが、アイデアシート（案）という形でまだタイトルもいれていないのですが、もともと、実は事務局では考えている中で「協働の種シート」という名前の案もありました。要は、市民の皆さんと一緒に市として仕事や問題点を解決していきたい。そのためのアイデアをくださいという形なので、確かに自分は問題だと思っているけれども、自分は関わらないよというご意見があっても、広がるかもしれませんが、それよりも一緒に何か解決したい中で、自治基本条例にもつながる話だとは思っていますが、市の責務、議会の責務、市民の責務もある中で、どのように社会を良くしていきますかとそのようなお話の中に協働事業があります。「あなたの役割は？」という言い方が良いのかは別にして、アイデアを出していただく人は、PRしなくても良いかもしれませんが、自分以外の誰かや団体がやってよというアイデアは、少し自分勝手な部分な感覚を与えかねないので、受ける側、さきほどの意見ですと自治会などは、自分たちはそのようなことではないですということになりかねません。自分たちもするし、〇〇もするし、〇〇もしませんかみたいなアイデアをいただければ、スムーズに事業として入っていけるのだと思います。垣根を下げるという意味です。「あなたの役割は？」というのをなくしてしまうのは残念かなという気はします。</p>
委員長	<p>傾合いが難しいところですね。アイデアシートと聞くと、自由に何でも良いので、アイデアくださいというように見えます。協働の提案書というのであれば、自分が主体というのが分かるかと思いますが、あまりそこを言いすぎると出てきにくいかもしれない。間口を広げるというのが最初の出発点ですので、その傾合いが難しいテーマです。団体が限られるので、個人でも拾い上げようというものです。</p>
委員	<p>これは、市民協働事業提案制度で、協働事業を市と一緒にしたいと言った場合、1人では提案できなかったのでしょうか。</p>

- 事務局 そのとおりです。協働事業については、応募できる団体要件、1年以上の活動実績と、原則として5人以上の団体です。個人では、協働事業の提案はできないので、個人の方は、アイデアシートを出していただいて、一定市民活動センターで、他の団体がすでに行っていたり、似ている活動をされているのであれば、マッチングして、提案制度にのせることもできますし、提案事業につなげてもらうこともできます。マッチングできなければ、広く広報して、一緒に活動してもらって賛同者を募り、事業しましょうというところで個人の方にも広げられればと考えています。  
もし提案事業を個人でもということであれば、今ある提案制度の要件を変える必要があります。
- 事務局 個人でも提案制度に応募できるとなると、事業は契約等の関係もあるので、そこも含めてご議論いただければと思っています。
- 委員長 個人で何かアイデアがあった時に、個人の立場でアイデアは書くことができます。市民活動センターでその課題であればこの団体があるよということも繋げてくれる。主体的な役割は期待するけれども、個人の色々なアイデアを拾い上げるような仕組みとなっているということです。
- 事務局 資料2にその辺の流れが書いているのですが、あくまで案なのですが、推進委員会の審査部会の役割として、アイデアシート（案）と今回お出しするよりも「協働の種シート」とお出しの方が良かったかなと今思いながら皆さんの議論をお聞きしていただいているのですが、このアイデアシートを市民活動センターの方で、マッチングできなかったら、これは協働になるというものを選出し、審査部会で煮込んでもらって、個人の意見が反映できるように賛同者を募り、担い手を増やしていくようなことが、今後提案事業に繋がっていけばと思っています。その辺りの想いが事務局としてはあります。
- 委員 もしアイデアが沢山出た場合、窓口としては、市で、他の団体と繋げるという役割ということですか。できることがあれば市がしますよということですか。
- 事務局 アイデアシート自体は、市ではなく、市民活動センターで募集し受け付けするというイメージです。自らも動くというアイデアを、既存団体で繋がれそうなところがあれば繋がります。
- 委員 このアイデアシートは、市は関係ないということですか。
- 事務局 そうではなくて、市にシートを持っていくということがハードルが高いというところがあると思います。市役所でもどの場所に持っていくのだろうかということもあるかもしれません。市民活動団体のことをよく知っている市民活動センターに投書箱のようなものを設置しておくことで、市民活動センターでマッチングできるものは、事務局と市民活動センターで協議をして、どのような内容、件数というところは、この委員会でも、ご報告させていただくということ、今のところ考えています。  
行政だけを見るのではなく、中間支援組織である市民活動センターと一緒に確認させていただく。シートは市に持ってきていただいても結構ですので、どちらでも受け付けできる形が今のところ良いのかなと思います。他にもここにアイデアシートを配架したらどうかというご意見などがあれば教えていただければと思います。投書箱となると管理の面もあります。  
市民活動センターが間に入っていただいて、提案事業まで進むようにはお話していただいたり、企画書の書き方をアドバイスいただいたりサポートしていただけますので、市民活動センターにシートを出していただく方が、今後進めやすいのかなと思います。
- 委員 シートの下に、「協働事業につなげるために今後市民活動センターから連絡しても良いですか？」というところに、はい、いいえが選べるようになっているのですが、受付をしてもいいえにしていたら、とりあえずいただいてこれ以上活かされるか活かされないかは分からないまま、提出して終わりということになりますかね。
- 事務局 そうですね。基本的には、はいに丸をしていただくことを期待していますが。

委員 ここはやはり選択制にするべきなのでしょうか。

事務局 周知の際に、先に出していただいた場合は、市民活動センターより連絡しますという文言を入れさせていただく形になるのかなと思います。もちろん今のご意見のとおり、いいえを省き、はいただけにし、書いていただいたら、市民活動センターから連絡しますというようにするのも1つだと思います。

委員 反応がないと、書いたは良いけど何もしないということになるので、ここは連絡させていただきすくらの表示があって良いと思います。それを膨らませるのは、市民活動センターがしてくれるのであれば、連絡させていただきすで良いのではないかと思います。

委員 とりあえず出したら、連絡しますよということを書いたらどうですか。

事務局 これは市として個人情報の取扱いがあって、記載しました。委員の皆さんが、必要ないということであれば削除します。

委員長 あなたの役割はというところまで聞いておいて、連絡していいですかと問うのはスタンスが違う気もします。提出した方が不信感を抱きかねません。ただ、沢山シートが出た時に、全て連絡が取れるのかということもあります。

委員 連絡させていただくこともありますという表現にしてはどうでしょうか。

委員長 沢山出た場合は、今回は残念ながら…みたいなものを郵送で送るというのも1つですし、出していただいたものにきっちり反応する必要があるのかなという気がします。あなたの役割はというところまで覚悟を問っているのであればね。

副委員長 前回の推進委員会で色んなことを言ったのに、早速このような案・アイデアを考えてくださり、良かったなと思っています。個人での応募は制度的に無理だとはねのけてしまうところを、このような形で取り入れているのは有難いです。アイデア募集について、アイデアシート（案）のタイトルは、たとえば提案シートの方がわかりやすいのかなと思いました。まちづくりを一緒に取り組むための提案シートなどが良いのではないのでしょうか。気軽に応募できるものと言いながら、協働という言葉は堅いので、柔らかい表現にすれば良いのではないかと思います。目的がわかる説明書をつけるということでしたので、従来の提案制度の簡略版の募集案内のようなものにして、このシートをはさみこむか、または、1枚でもわかるように裏面に個人でも応募できるように考えましょう。これは協働につなげていくためのものですので、あなたの役割も書いてくださいというような説明文を入れるか、どちらかそのようなものを作られれば良いのではないのでしょうか。それと今の議論にもありましたが、個人情報の問題など、市民活動センターよりも市の方が安心というような人もいるかもしれないので、説明文の中に、個人情報については、両者が共有し活用しますというようなものがあれば良いのかと思います。資料の中に、市民活動センターで企画が良いものを選出して…という表現があるのですが、この委員会の審査部会に匹敵するようなアイデアシートを審査する委員会のようなものがあるのではないかと思います。市と市民活動センターと審査部会と、3者の役割分担を明確にしてもらって、連携するところはすることが良いのではないかと思います。活用方法ですが、子どもに広報するのも大人に広報するのも、これは協働事業に取り組むために募集しているのだという真剣度を見せないと、子どもたちは、総合学習などの学習に終わってしまう。子どもたちがまちづくりについて考えてもらうことは大変良いことだと思いますが、言いつばなしではなくて、実際に市は色んな団体と結びつけるなどしてやりますよということをごどこかで見せるような仕組みを作っていけたら、すごく良いと思います。選挙権が18歳以上になったこともあり、いつか公民館などで大発表会をしながら大人が繋いであげてマッチングをするなどしたら、真剣に取り組んでもらえるかもしれません。

- 委員長 資料に右側に個人の場合、団体の場合と書いてあるのは、グレーのところは、従来の提案制度になるので、これは変わらないです。そこにいくまでに、個人などからアイデアを出してもらってマッチングできればするという事です。提案制度にいくまでのアイデアの拾い方として、このアイデアシートを使うこともあることです。別にこれを使わなくても申請書を書ける団体があるのであればそれでも良いということになります。従来の提案制度に持っていくのにハードルが高いという話があったので、このようなアイデアシートから申請書を書けるところまで持っていくためのステップということになります。個人の場合と団体の場合となっているのが、分かりにくいかもしれませんが、団体の場合であっても、うまく申請書が煮詰まらない時に使ってもらっても良いかと思います。そのような仕組みになっています。基本的な提案制度は変わらない。その中で、通過しなかった団体へのフォローアップをつけている。アイデアシートは、団体であっても個人であったも構わないので、マッチングするという事です。
- 副委員長 団体の場合、個人の場合と書いているけれども、どちらもアイデアシートを使っても良いということですね。また、団体として、組織化されていなくて力が不十分といった場合は、このシートを活用するという事です。
- 委員長 提案制度の方の様式は要綱で決まっているので、それにプラスしたものというのが、今回のアイデアシートです。
- 副委員長 このアイデアシートは通年で対応するという事です。この間提案事業として提案のあったコンサートを主にされるグループがあって、通過できなかったけれども、来年まで待てないと言われる方もいるかもしれません。その時に、出す前の段階で、市民活動センターでもう少しフォローしてあげられないのかなと思います。これから応募しようと思うけれども、アイデアは良いけれども、事業化力が弱いというような団体があれば、市民活動センターで見てあげて、9割見ることはだめだと思いますが、5割くらいまで申請書の書き方や不備があれば、アドバイスしてあげてはどうか。団体の要件を満たしているような団体であれば、救ってあげられないのかなと思います。
- 事務局 今回の場合も、先に市民活動センターに相談してみてもいいですかということで提案させていただいています。
- 副委員長 今回のことはよく分かります。何が言いたいかというと、今回の団体以外にでも通過できなかった団体へのフォローアップも大切ですが、これより以前にでもできるのであればしてあげてほしいなという気持ちがあります。
- 委員 基本的な必須のステップは教えてあげてほしいですね。
- 副委員長 審査部会は、こうだったら良いのにねという意見交換はしていますが、書類でしか見えないので、その前に市民活動センターがもう少し手助け、アドバイスできる方法を組み込む方が、通過できなかった団体が来年まで待つよりは協働に繋がる気がします。
- 委員 提出する手前の団体で、相談できる場所があればと良いなと思います。
- 委員 市民活動センターが作成された夢プラザだよりを以前いただいて、メンバーの顔のイラストが入ったものがあったと思います。あのイラストを見てみると、常時いらっしゃるのは、女性が1人です。相談に行っても、相談にのっていただけなのかと思います。メンバーを見ているとおそらくパートで来ていただいている人でしょう。
- 事務局 今年の4月からですので、市民活動センターでまだ不慣れな方もいらっしゃると思います。もちろん専門的な方もおられます。来ていただいたときに、すぐに回答が出ない可能性もありますが、それはきちんと専門家に確認してお答えしていただくという事はしていただける。
- 委員 ふいに行っても専門の方がいらっしゃらないことが多いと思います。あとで連絡しますなら良いですけど、そうでないのなら、また行かなくてはなりません。
- 副委員長 市民活動センターの人から何人、この推進委員会の委員から何人というのが、この推進委員会の委員で入っても良いという人がいるのであれば、お願いできるのであれば入っていただいて、アイデアシートを見るという方法もあるかと思います。委員の皆さんは、それぞれ地域活動などをされていると思うので、活かされるということもあるかもしれません。

- 委員長 申請書類を市で公式に受け取ってしまっただけからは、その後は変えてもらうことができないので、どうしたら良いでしょうか。正式に受理する前に、少し市活動センターでアドバイスしてあげてくれませんかというのはだめなのではないでしょうか。
- 事務局 市民活動センターに1度ご相談いただいた方が良いと思いますというご案内はさせていただきます。その時はまだ正式には受け取っていません。今年度の提案制度で提案のあったものも、最初は受け取りをしていません。4月～5月末としているので、それが4月に出していただいていたなら相談もできるのですが、なかなか団体の皆さんは、提出期限があると、2日～3日前とかになることがあります。そのため、このようなアイデアシートを置いていて、先に書いてもらっていたら、間に合ったかもしれないという想いがあり、このアイデアシートについては通年ということにしています。
- 委員 早いうちに、情報をキャッチしていて、早いうちに準備ができていて良いと思うので、募集要項は早めに出せば良いと思います。
- 副委員長 説明会は、4月1日より前でしたか。
- 事務局 そうです。説明会は、3月の中旬辺りに行っています。企画書など3月にはお配りしているのですが、通常の企画書を出していただけるのは、締め切りの少し前になっています。
- 委員長 内容を見て、公式に受け取る前に、若干のコーディネートを行っていただいているということですね。
- 事務局 あまり企画書の内容については、私たち市の方ではあまり言えないので、そこまではできませんが、要件など受け付けるにはどうなのかということについては、市民活動センターをご案内させていただきます。
- 委員長 そういう意味では、割と市民活動センターに、依存しているというところがありそうです。委員の意見では、女性1人しかいないのに、そこまでできるのかという話もあるかもしれませんが、タイトルですけれども、皆さんからもご意見いただいているかと思いますが、単なるアイデアシートという名前だと誤解されてしまうところがあって、あくまでも、市民が他人任せではなくて、自分のこととして一緒にしていくというところを醸成することが主旨ですので、なんとか一緒にまちづくりをするという副委員長の「まちづくりを一緒に取り組むための提案シート」など、少し長いような気もしますが、そのような主旨ということですね。何度も事務局もおっしゃっているように、単なる要望とは違うので、「一緒に取り組むための提案シート」というイメージができるような名前といえば、「協働の種シート」という名前も近いような気がします。アイデアシートと言われると、純粋に自由な発想で良いので書いてくださいといったものになってしまいます。連絡して良いですかというようなところは、むしろ連絡しますというような方が良いでしょうね。市民活動センターには、常時専門の方がいる訳ではないので、大丈夫かというような話もありました。この辺りは、センターに、できないことを言っても仕方ないので、できることをお願いしたいと思います。アイデアシートのマッチングについては、推進委員会との連携を考えてはどうかとのことでした。分けてもらったあとに、この推進委員会に上がってくるということですね。個人などについて、マッチングできなかったもので、いけるかもしれないというものを市民活動センターで選出というところが、市民活動センターだけで大丈夫かということですね。審査部会と記載のあるのは、この推進委員会の中の審査部会のことです。ということは、アイデアシートの審査部会ということですね。ここは公式な審査部会のメンバーということになります。
- 副委員長 審査部会に入るのであれば、地域のことをよく分かっているところで、社会福祉協議会と、自治会連合会の方にはできたら入っていただいて情報交換していただければと思います。
- 委員長 推進委員会としては、市民活動センターに前捌きしていただいて、可能であれば我々のメンバーからも入っても良いかと思います。

副委員長 提案大会なんかをいずれしても良いのかも。というのは、周知を広報誌やウェブサイトだけでなく、実際に、人を集めて、地域の人に参加していただいて、賛同者を募れば、一緒にしてみようかという人がいれば良いなという気がします。

委員長 それは、報告会ではなくてまた別ということでしょうか。

副委員長 プレゼン大会のようなものです。

委員長 公式の提案事業を審査する時ではなく、アイデアシートのプレゼン大会ということですね。

副委員長 広報誌やウェブサイトでもするけれども、それに加えて、アイデア募集大会などがあればと思いました。

委員長 少しまとめましょうか。アイデアシートのネーミングをもう少し単純にしようということがあります。アイデアシートが出てきた時に、これはいけますという時には、団体とつないであげてそのまま上手くいけば申請書があがってくるということになります。それを上手くマッチングできない場合でも、これは芽が出そうだというものについては、審査部会で審査するということになります。何件出てくるかにもよるのかなという気がするのですが、してみないと分からないような気がします。市民活動センターにまずはマッチングしてもらってから、さばきをしてもらう。市民活動センターが見て、その考えと合うところがあれば、そのまま上手くいくし、そこまで上手くいかないものは、芽が出そうなものをいくつかピックアップしたものを審査してほしいということでした。その中には、可能であれば社会福祉協議会や、自治会連合会の方にも入っていただきたいということでした。

副委員長 今の市民活動センターの仕分けをする体制の中では、この推進委員会の中から、社会福祉協議会や自治会連合会の方が入っていただけるのであれば、審査部会での書類審査は不要になると思います。

委員長 1件くらいなら、審査部会でも良いのかなと思いました。

事務局 書き方もあるのかと思うのですが、今日は、社会福祉協議会か、自治会連合会の方も、出席されていないので、この審査のところについては預かりということでもよろしいですか。皆様のご意見は十分に承りました。

委員 委員が最初の方におっしゃった記入の方法ですが、せっかくウェブサイトなどで広報するのであれば、ダウンロードできるようにしておいてもらえたらと思います。

委員長 それでは、あとは、協働の提案についてを応援しようということをお皆さんの中にあると思いますので、お金なしでもできることがあるのではないかと建設的なご意見も伺いました。基金やふるさと納税、クラウドファンディングなどと連携できるような仕組みも今後皆さんと勉強していけたらと思います。欠席された委員のご意見をご紹介しますと、アイデアシートは通年で募集していただいて、市民活動センターでブラッシュアップ、市職員の研修などでも使っていただいても良いかもしれません。提案事業を新たな仕組みを考えるとことで将来の市民の負担を減らすようなねらいもあったのではないのでしょうかということでも大事にしてほしい。というようなご意見でした。ふるさと納税は返礼品を出さない方が集まったという話もあることから、品物目当てではなくて、本来の主旨のところでも応募してもらえればと思います。

事務局 リサイクルブックつながりのチラシをご覧いただきまして、こちらにつきましては、本のリサイクル関連事業として提案事業で応募があったもので、実際にスタートするというご案内になります。9月16日(土)にオープンされ、サラダホール1階のとももとレストランがあった場所で毎週土曜日に開催される予定です。1冊あたり10円～50円などの安価な値段で販売した収益を基に、公共施設などに本を寄贈するというものです。オープン前ですが、3千冊並んでおり、着々と準備が進んでおります。オープニングセレモニーも開催される予定ですので、皆さんもぜひお越しいただければと思います。

今年度につきましても、職員研修を実施いたします。川北秀人さんをお呼びした管理職研修をさせていただく予定です。また、別に職員にも地域活動や地域のことを知っていただくための、現場体験研修のようなものを企画しておりますので、皆さんの方にも協力依頼等させていただく可能性もありますので、その際にはご協力いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長 それでは、本日の推進委員会を終了します。